

公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 部分公開
	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開	

※「(1) 審議の内容」における記号の説明  
「○」…委員の発言  
「◎」…委員の質問に対する事務局の回答

## 第2回浜松市斎場再整備事業における

### 浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和4年8月17日（水）午後1時30分から午後3時30分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第5委員会室
- 3 出席状況 出席委員 伊庭 良知（一般社団法人国土政策研究会）  
寒竹 伸一（静岡文化芸術大学）  
山田 夏子（日本公認会計士協会東海会静岡県会）  
石切山 真孝（財務部）  
奥家 章夫（市民部）  
事務局 市民生活課  
佐藤課長、藤原補佐、小池主幹、齋藤副主幹、根本主任、  
清陀主任

4 傍聴者 非公開の為、0人

#### 5 議題、内容及び結果

##### (1) 審議の内容

議題1 第1回委員会指摘事項と対応について

(意見)

○実施方針（案）の個別方針「地域の火葬風習に沿った施設」について、「沿った」という表現は、限定的な印象を与える可能性があるため、異なる風習の方にもフレキシブルに対応できることが伝わるよう、「包含する」といった表現とした方が適切である。

議題2 浜松市斎場再整備事業実施方針（案）について

(質問)

○実施方針（案）では、デジタルトランスフォーメーションやグリーントランスフォーメーションについて言及されていないが、施設方針として掲げるなどの考えはないのか。

◎現在、浜松市には斎場の予約システムがあり、本事業でもこの予約システムは運用

していくためデジタル化には対応していくが、ご指摘の通り、実施方針（案）中の文言としては、デジタルトランスフォーメーション等には触れられていないため、意見を踏まえて検討する。

○浜松斎場と雄踏斎場の2施設を1つの事業として提案審査する際に、例えば、浜松斎場はAチームが優れているが、雄踏斎場はBチームが優れているといった事象も想定されるが、どのような考え方にに基づき審査するのか。

◎ご指摘のような事象が起こるケースも踏まえて、審査基準の中でわかりやすく明確に判断できるよう検討する。

○本事業はWTOの対象事業であるが、地域貢献という点はどのように考えるか。

◎地域要件を基準に入れることはできないものの、市内や市外を問わず、事業者が地元経済に対してどれだけ貢献するかという点からは評価したいと考えている。

○仮契約後に議会議決が得られず、事業契約が結べない事態が生じたときの責任はどう考えるか。

◎「議会の議決が得られないことにより契約締結が遅延・中止した場合は、それまでにかかった市及び事業者の費用はそれぞれの負担とする」という整理をしている。

○提案に要した費用は事業者負担とするのは理解できるが、事業者選定後に契約を締結するために民間で発生した費用については、精査が必要なのではないか。

◎精査し、次回委員会で返答させていただく。

○構成企業の定義について、株式を有するからといって業務に責任が生じるわけではないため、責任分担の観点からは構成企業がSPCに出資することは重要でないと考える。ただ最終的には、委員会ではなく自治体で決めることなので、目的があつての定義づけであればよい。

◎庁内で再度検討させていただく。

(意見)

○PFI事業では、提案書は事業契約の次に重要であり、提案の通りに事業が遂行されているかをモニタリングすることが行政の一番の仕事である。

### 議題3 浜松市斎場再整備事業 要求水準書（案）概要について

(質問)

○雄踏斎場で入れ替える既存炉だけ排出ガスの基準が異なるがこれでよいのか。せっかくなので新設炉と同レベルにしたらよいのではないか。

◎新設炉の基準値には、現在の機械室に入らないサイズの炉でしか対応できず、また、雄踏斎場の建設地は斜面地にあり既存地を増築できる状況でもないため、建設時の発注仕様書の基準値としている。

○アイデアがないから仕方なく、そうなっている可能性はないのか。なぜ当時の基準のままで炉の入れ替えを行うのかは問われる点である。

(意見)

○現有資産の活用の考えも大切だが、一般の人や議員からすると、何故火葬炉を全部新しい基準にしないのかという質問は出ると思うので、納得できる説明は用意しておくべきである。

○要求水準を定めていく中で、一定程度の安全性を確保できているということを理解いただくように説明を準備していくことがまずは正しい方向性かと思う。

#### 議題4 VFM概要について

(意見)

○事業者選定後に、選定された事業者の提案金額とそのVFMを検証することは重要であるが、現段階でのVFM計算は机上論なので、あまり時間や労力をかけない方がよい。

○事業者選定の考え方などの注力すべき部分とそうでない部分でメリハリをつけて遂行していかないと、公民連携事業は上手くいかない。

#### 審議の結果

議題1 第1回委員会指摘事項と対応について、確認した。

議題2 浜松市斎場差整備事業 実施方針(案)について、確認した。

議題3 浜松市斎場再整備事業 要求水準書(案)概要について、確認した。

議題4 VFM概要について、確認した。

- 6 会議資料の名称 浜松市斎場再整備事業 実施方針(案)、浜松市斎場再整備事業 要求水準書(案)概要、VFM概要
- 7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音
- 8 会議録署名人 寒竹 伸一  
山田 夏子